

# 原料費調整制度に基づく2023年11月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1㎡あたりの単価)で毎月調整します。なお、激変緩和対策期間のため、政府の支援による15円/㎡(税込)の値引きが適用されています。

今回の調整は、2023年6月から2023年8月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
3ヵ月の平均原料価格			→ 反映				
			→ 反映				
			→ 反映				

○2023年11月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1㎡あたり)	
			2023年10月検針分	2023年11月検針分
料金表 A	0㎡から11㎡まで	786.50円	210.55円	210.22円
料金表 B	11㎡超～115㎡まで	891.00円	201.08円	200.75円
料金表 C	115㎡超～	1,961.30円	191.76円	191.43円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 54,690円/トン**

2023年6月から2023年8月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	88,170円/トン(10円未満四捨五入)
2023年6月から2023年8月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	73,680円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 $88,170 \text{円/トン} \times 0.9748$ $+ 73,680 \text{円/トン} \times 0.0404$	<b>88,920円/トン</b> (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格 - 基準平均原料価格)	$88,920 \text{円} - 54,690 \text{円} = \underline{34,200 \text{円/トン}}$ (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1㎡あたりの価格変動額	0.075円
<b>ガス料金激変緩和対策事業による支援単価(1㎡あたり)*</b>	<b><u>-15円</u></b> (税込)
2023年11月分検針の調整額(1㎡あたり)	$34,200 \text{円} \times 0.075 \text{円} \div 100 \times 1.10 = 28.21 \text{円}$ (小数点第3位切り捨て) $28.21 \text{円} - 15 \text{円} = \underline{13.21 \text{円}}$ (税込)
2023年10月分検針の調整額(1㎡あたり)	13.54円(税込)
(11月分)対(10月分)増減(1㎡あたり)	<u>-0.33円</u> (税込)

2023年11月分の単位料金を1㎡あたり13.21円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	2023年10月分料金	2023年11月分料金	影響額
20㎡	4,912円	4,906円	-6円

※詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。  
(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)